

新小山市民病院ニュースレター Shin-yama City Hospital News letter No.16

<http://hospital-shinoyama.jp/>

〒323-0827 栃木県小山市神鳥谷2251-1 ☎0285-36-0200 (代表)

病院長挨拶

☆「7人の侍」精神☆

今年、平成30年の診療・介護報酬同時改定に向けて、医療と介護の連携、役割分担をめぐる議論が盛んになるでしょう。昭和62年に全国で7つの医療機関が老人保健施設のモデル施設を始めました。彼らは、最初から手弁当で、手探りで、高齢者医療のあるべき姿を追い求めました。「7人の侍」の一人である千葉市の開業医、平山登志夫先生が述懐されています。退院した患者さんの家に往診したら、おばあさんが押入れの中で寝たきりになっていたのを見てショックを受けたそうです。このモデル施設において、病院よりも少ない医師・看護師数で、寝たきりの患者を数ヵ月で家庭に復帰できることを実際に示しました。寝たきりの人が座れるようになり、トイレに一人で行けるようになるという、目的をもったりハビリや生活訓練を順序だてて実施する、それがまさしくケアであったということです。この瞬間、彼ら先駆者は、高齢者のケアに、医療とは別の介護という分野を切り開いたと言えるでしょう。当時は、高齢化率が10%そこそこでした。現在は、それが26.7%。我々が診る高齢患者は、実に多様な身体、精神、社会的状態を呈しています。そこに、人口減少社会における高齢者医療・介護に費やす経済の逼迫があります。病院、診療所、施設が、それぞれ直面する課題に対して取り組まなければなりません。



新小山市民病院は、1つの病棟（44床）を地域包括ケア病棟として、主に急性期を終えた患者さんの生活復帰支援の場としています。ここでは、診療報酬上も、リハビリは包括されていて、1日何単位という計算は度外視されています。むしろアウトカム（成果）志向で、在宅復帰率70%以上というしほりがあります。今、地域包括ケア病棟では、疾患治癒後の生活復帰を目標に、多職種が連携し、「7人の侍」精神で取り組んでいます。

平成29年3月

新小山市民病院 理事長・病院長 鳥田和幸

主なトピックス

新病院1周年記念事業開催

1月8日（日）に、小山市立文化センター小ホールにて新小山市民病院開院1周年事業として「第7回小山の医療を考えるシンポジウム」を開催しました。第1部では、小山の地域医療を考える市民会議の方々による活動報告と、在宅医療をテーマとした寸劇の発表が行われました。第2部では、栃木県保健福祉部医療政策課課長補佐吉田昌広氏をお招きし、「地域包括ケアシステムってなあに？」をテーマに、国の政策や本県の現状・取組について説明頂きました。第3部では、自治医科大学地域医療学センター長の梶井英治先生が座長を務め、小山地区医師会の塚田錦治会長、当院の鳥田和幸院長、小山市いきいきふれあい運営委員会連絡協議会の日向野正道会長、小山市保健福祉部高齢生きがい課の室橋正枝氏がそれぞれの取り組み状況や役割について説明し、会場からも様々な質問が投げかけられ活発な討議が行われました。300人余りの方にご来場いただき、大盛況のうちに終わることが出来ました。今後もこのような活動をつづけ、当院の取組状況や小山市・地域との関わりなどについて情報を発信していきたいと思ひます。



小山市近郊地域医療連絡協議会 の現状と発展、各部会の報告



地域の医療資源を有効活用し、患者さんへのケアが適切かつスムーズに運用されることを目的に、近隣14病院で昨年10月に設立された「小山市近郊地域医療連携協議会」。この協議会の運営状況をご報告します。

5つの部会「医師部会」「看護部会」「医療連携部会」「医療技術部会」「事務部会」それぞれが、回を重ねながら各病院の強みや受入態勢の状況など幅広く情報を交換し、地域完結型医療のモデル地区を目指しています。

特に、医師部会では、将来的には新小山市市民病院から協議会病院へ不足する診療科医師の応援診療を行いたいなどの提案に、大きな喝采を浴びていました。

医師部会

1月27日に、新年初顔合わせも兼ねて開催しました。
先生方の診療に対する熱い思いで有意義な懇談会となりました。



看護部会

10月12日に第1回を開催し、困っていること・聞きたいこと・各病院の特徴についてなどの意見交換を行いました。転院する患者さんについて、行き違いやトラブルがないように直接連絡を取り合うようにしたいなど転院や在宅に向けての問題解決を図りたいと話し合いました。また、12月9日に第2回を開催し、他職種との連携の仕方について、各病院でどんな患者さんを受け入れられるのかなどを話し合いました。第3回は2月24日に開催しました。2ヶ月に1回のペースで情報交換を行っております。

医療連携部会

10月7日に第1回を城西病院で開催しました。毎月1回、各連携協議会病院の病院見学を行い、2ヶ月に1回は部会を兼ね、病院見学後に見学の感想や情報交換を行っています。
来年度は、介護施設も部会に入っていただきたいと考えております。

医療技術部会

1月27日に第1回を開催し、今後、病院間のネットワークの強化やスムーズな連携を図れるように、各病院の特色を発表し共有していくことになりました。また、同時に施設見学も行うことにしました。部会開催は、3ヶ月に1回、第2木曜日とし、必要に応じて頻度を変更していこうと思います。次回は、4月13日(木)18時30分から、新小山市市民病院 さくらホールにて開催します。

事務部会

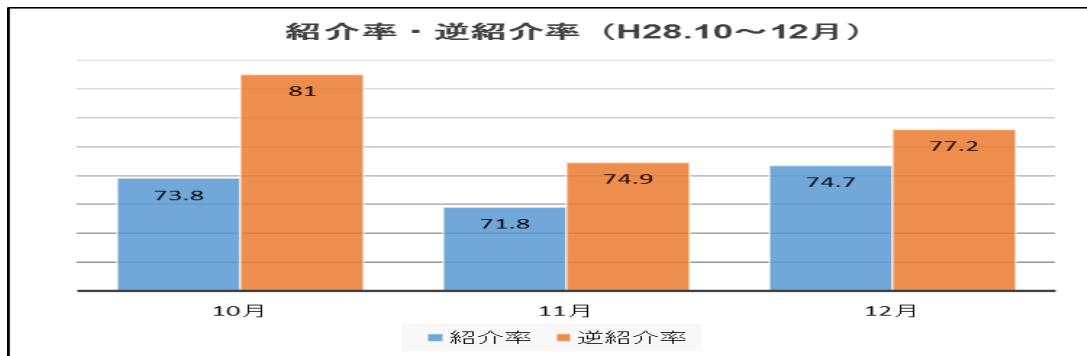
部会開催前に各病院から情報交換したい議題をご提案いただき、その中から5つのテーマについて情報交換を行っております。10月19日の第1回の部会では、事務職員の育成・専門職の採用・未収金の回収・車イスの購入管理について、1月25日の第2回では、院内での情報共有・管理職会議のあり方・適時調査の傾向と対策・諸手当・費用項目について、各病院の現状をお話いただき、論議を重ね、非常に有意義な部会を開催することが出来ました。
次回は5月24日の予定です。



医療連携室からのお知らせ

いつも当院運営にご協力頂きありがとうございます。今年度下半期のデータを集計しグラフ化しました。

○ H28 年 10 月～12 月までの紹介・逆紹介率



○ 紹介患者予約の実績（H29 年 1 月 4 日～1 月 31 日）

予約先診療科	件数	予約先診療科	件数
小児科	13	整形外科	9
神経内科	10	耳鼻咽喉科	5
神経内科（もの忘れ外来）	11	心臓血管外科	3
循環器内科	8	呼吸器内科	12
外科	4	無呼吸外来	1
内分泌代謝科	4	脳神経外科	2
皮膚科	4	腎臓内科	1
総合診療科	1		

合計 88 件

○ 紹介患者予約について

平成 29 年 1 月より、患者さんが来院後スムーズに診療が受けられるよう、一部の診療科を除き、紹介患者予約をお受けすることになりました。

急を要しない患者さんの場合には、予約専用電話で予約をおとりください。

なお、緊急を要する患者さんにつきましては、今まで通り医療連携室にご連絡ください。



予約専用電話（医療連携室内）
TEL：0285－36－0254
FAX：0285－36－0352



※ **消化器内科**と**泌尿器科**については、現在、外来患者数が多く、予約が開始できない状況になっております。

患者さんには、紹介状を持参し**直接 11 時までに来院**していただくよう、ご案内をお願い致します。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い致します。

※ 3 月から、神経内科医の増員があります。4 月からは、内科・総合診療科医、形成外科医の新たな医師の増員配置を予定しております。次号でご紹介させていただきますのでよろしくお願い致します。



医療連携室からのお知らせ

○ 第6回 地域完結型医療・連携の会

今年度最後となる医療・連携の会は、3月16日(木)に開催されます。日々の診療でお忙しい中、医師会の先生方には、いつも遅い時間にお集まりいただきありがとうございます。活発な情報交換をさせていただき、当院医師も勉強させていただいております。

今後多数ご参加くださいますよう、お願いいたします。

第5回 医療・連携の会の様子

第5回は、内分泌代謝科、外科、呼吸器内科、腎臓内科の紹介患者さんの症例を報告させていただきました。

新小山市民病院 第6回 地域完結型医療・連携の会

日 時 2017年3月16日(木)19時15分～

会 場 新小山市民病院 さくらホール(多目的ホール)

座 長 総合診療部部长 三瀬 順一

□ 各領域における紹介患者の症例検討会 19:15～

- ◇ 総合診療科領域における紹介患者の症例報告
- ◇ 消化器内科領域における紹介患者の症例報告
- ◇ 婦人科領域における紹介患者の症例報告
- ◇ 心臓血管外科領域における紹介患者の症例報告

共催：一般社団法人小山地区医師会・新小山市民病院

※ 軽食を用意しております。

問い合わせ先：新小山市民病院 医療連携室 (TEL: 0285-36-0252)



患者支援センター (受付時間 平日 8:30 ~ 17:15)

- ◇ 医療連携室 : 0285-36-0252
(緊急の患者紹介・転入相談・その他地域連携に関する事)
- ◇ 予約専用ダイヤル: 0285-36-0254
(もの忘れ外来・内科・神経内科・循環器内科の受診予約・胃カメラ・心エコー・腹部エコーなどの検査予約)
- ◇ 医療相談室 : 0285-36-0256
(医療相談・退院調整に関する事・MSWに連絡・その他、外来患者の各種相談に関する事)
- ◇ FAX : 0285-36-0352
- ◇ メール renkei@hospital.oyama.tochigi.jp ※メールでも受付しております。